

氏名	佃 志津子	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	医療福祉 医療心理 医療ソーシャルワーク				
学位	修士(カウンセリング)				
学歴	2010年筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程修了 2015年筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程				
経歴	1998年～2011年市川市保健医療福祉センター市川市リハビリテーション病院、2013年～2016年神奈川県立病院機構(神奈川県立こども医療センター、神奈川県立がんセンター)、2016年4月～埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科准教授				
所属学会(役職)	日本保健医療社会学会、日本カウンセリング学会、日本老年行動科学会、日本ソーシャルワーク学会、日本社会福祉学会、日本医療社会福祉協会、日本精神保健福祉協会、日本発達心理学会、等会員				

【2018年度実績】

1. 研究業績

	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	同居家族との死別により生じた入院中の高齢者の社会的課題とその支援 ―回復期リハビリテーション病棟における2事例から―	単著	社会福祉学 59(1), 96-108	佃志津子	2018年5月
(3) 学会発表					
1	がん「折り合うこと」に関する研究 ―折り合うとは何か・どのように折り合うか・なにが必要か―	共著	日本カウンセリング学会第51回大会 発表論文集 p120	○佃志津子・大川一郎	2018年9月
(4) その他					
1	「がん教育」アンケート報告書	単著	埼玉県立草加東高等学校	佃志津子	2019年1月
2	「レジリエンス研修」アンケート報告書	単著	宮崎県医療ソーシャルワーカー協会	佃志津子	2019年1月
3	八潮市地域包括ケアシステムモデル地区実態調査 報告書	共著	八潮市長寿介護課 伊草団地(八潮市)	長友祐三・木下聖・小川孔美・佃志津子	2019年3月

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	八潮市地域介護予防把握事業	住民主体による地域の包括的支援体制モデル構築へ向けた基礎的調査・研究(研究分担者)	2018年4月～2020年3月
2	埼玉県立大学研究開発センター プロジェクト研究	シームレスながん医療を促進するコアアイネット能力向上プログラムの開発と有効性の検討(研究分担者)	2018年4月～2019年3月

3. 教育業績

	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
(1) 講義			
1	医療福祉論	2018,4～8	医療を社会との繋がりの中で捉える視点を培うことを目的とし、医療を成り立たせる法制度、地域医療、医療保険など社会保障制度、患者動向、医療と倫理、意思決定支援などを伝える授業とした。
2	医療ソーシャルワーク論	2018,10～2019,2	小児周産期医療、リハビリテーション医療、高齢者医療、退院支援、地域連携、情報管理など医療機関におけるソーシャルワークの実践や多角的な支援の視点を培う授業とした。
3	精神科ソーシャルワーク論Ⅳ	2018,10～2019,2	アクティブラーニングにより、精神科領域におけるソーシャルワークや人間理解、メンタルヘルス支援等の知識と技術を培う授業とした。
4	リハビリテーション看護	2018,10	看護学科の学生に、リハビリテーション医療におけるソーシャルワークと社会保障制度、多職種連携などについて講義を行った。

(2) 演習			
1	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2018,4~8	「医療における支援」をテーマに、患者・家族理解の視点や多職種協働の視点を培うグループワーク、ロールプレイを行った。
2	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2018,10~2019,2	グループワークについて、基本的な視点からグループプロセスの学習、模擬的なグループワークの演習を行った。
3	社会福祉専門演習Ⅱ	2018,10~2019,2	保健医療分野のソーシャルワークについて、事例検討やロールプレイ、グループ学習、患者・家族との対話へ場への参加等により多角的な視点を培うことを目的とした演習を行った。
4	社会福祉専門演習Ⅲ	2018,4~8	事例検討、グループ学習、病院でのフィールドワークと発表、メディカル・カフェの運営等を通じて、患者・家族支援の実践的な学びを深めるとともに、専門職としての準備性を獲得することを目的とした演習を行った。
5	社会福祉専門演習Ⅳ	2018,10~2019,2	
(3) 実習			
1	ソーシャルワーク実習Ⅱ	2018,4~11	医療機関、地域包括支援センターにおける実習指導を担当した。
2	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	2018,4~8	医療機関、地域包括支援センターにおける実習の事前学習を指導した。
3	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ	2018,10~11	医療機関、地域包括支援センターにおける実習の事後学習を指導した。
4	IPW実習	2018,6~10	医療機関におけるIPW実習を担当した。
5	共生社会実習Ⅳ	2018,10~2019,2	医療機関における共生社会実習の希望者に対し、実習先の調整を図るとともに実習前後の指導を実施した。
(4) 論文指導			
1	卒業研究指導	2018,4~12	学部生4名の卒業研究を指導した。
(5) その他			
1	オープンキャンパス模擬講義	2018,8	「医療の場で人を支えること」をテーマに、オープンキャンパスの来学者に講義を2回実施した。
2	国家試験対策応援講座「保健医療サービス」	2018,12	社会福祉子ども学科4年次生に対し、社会福祉士国家試験対策として模擬問題を作成し、提供した。
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	退院支援と多職種連携	埼玉県立大学	IPW総合課程において保健医療福祉従事者に講義を行った。
2	がん哲学外来メディカル・カフェ in SPU 「がんと思いやり～本人から家族へ・家族から本人へ～」	埼玉県立大学 佃研究室	がん患者・家族、保健医療福祉関係者、地域住民を対象とした講演会と交流会において講演を行った。
3	がん哲学外来メディカル・カフェ in SPU 「誰もが限りあるいのちについて考えてみる」	埼玉県立大学 佃研究室	がん患者・家族、保健医療福祉関係者、地域住民を対象とした講演会と交流会において講演を行った。
4	逆境と向き合うカーあなたの強みはなんですかー	わせがく高等学校 川越学習センター	高校1年・2年・3年生(約45名)に講演を行った。
5	レジリエンスー折れないころってなんだろうー	埼玉県立鳩ヶ谷高等学校	高校1年・2年生と教員(約600名)に講演を行った。
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	公益社団法人埼玉県社会福祉士会	倫理委員会委員	2017年4月~2019年3月
2	埼玉県八潮市	八潮市 地域福祉計画推進委員会委員	2017年4月~2019年3月
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		

5. 学内運営(委員会委員)			
1	地域産学連携委員会 委員		
2	男女共同参画推進委員会 相談員		
3	社会福祉子ども学科社会福祉学専攻2年次生学年担当		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	筑波大学大学院カウンセリングコースキャリアプロジェクト(2016,8～)		
2	筑波大学「教育相談研究」査読		
3	がん哲学外来メディカル・カフェ in SPU 主宰(2016,10～)		